

つなげよう 広げよう 子どもを育てる”輪”

でんでん



伝々ニュース

2011-1号

事業案内版

2011.8.20発行

子どもたちの未来のために やっぱり、原発はいらない！

3月11日の東日本大地震の発生から半年が経とうとしています。津波による壊滅的被害からの復興にはまだまだ遠く、加えて東京電力福島原発事故による放射能の被害は小手先の対策ではどうしようもなく、これから何十年先までの暮らしや健康に影響を及ぼすこと必死です。長い年月をかけ手間暇を惜しまず耕し、育てた農地、家畜、地域社会をその瞬間に手放しあきらめなければならない方々のお気持ちは、どんなお見舞いの言葉もむなしく響くばかりです。わたしたちは、便利な都会に生活し、日々の暮らしに追われ、目の前の問題にとらわれていたのです。このわずか30年の間になんと54基もの原発が建設されていました。その多さにビックリ！！

なんでこんなことになってしまったのかとつくづく思います。経済の先行き不安を言われても子どもたちの未来にやっぱり原発はいらない！ マスコミのあり方を含め怒っています。この機会にわたしたち大人は、自分たちの暮らしを見つめなおすとともに、未来に対する責任を自覚し行動すること、子どもたちはどんな非常時も生き抜けるたくましさを培うこと、人と人とがつながり、ふれあって支え合っていく社会の再生を真剣に取り組ん

でいくべき等々、そんなことを日常的に思っています。原発の開発から運用、そのリスクに係る莫大な費用を将来のために子どもたちに向けていきませんか？

さて、でんでん子ども応援隊は十条銀座の真ん中に活動拠点を移して3年目に入りました。この間、ミニ保育など新しい事業を広げ「乳幼児から思春期まで」をフォローできる子ども・子育て支援のNPOとして活動を充実させてきました。それらの事業は北区やその他の機関からの助成金を活用して、これまでは比較的順調に運営をしてきましたが、震災の影響もあるのか、今年は3件申請したうち2件が却下となりました。

しかし、わたしたちはこの際これまで築いてきた事業基盤を固め、スタッフの相互信頼と自主的参加による運営体制を整備するための良い機会と受け止め、市民活動の初心を忘れずに、自立した運営が可能な組織づくりを進めていきます。

2011年8月

特定非営利活動法人でんでん子ども応援隊

理事長：豊原きよみ

事業基盤の強化と運営体制の整備につとめます

編集発行



特定非営利活動法人

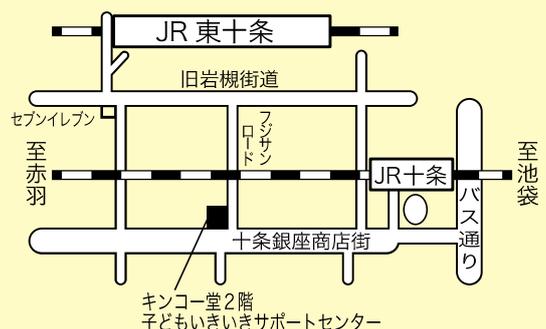
でんでん子ども応援隊

所在地：〒114-0031 北区十条仲原1-27-3

TEL & FAX：03(3905)2355

Mail：kids@dendenroom.or.jp

Homepage：http://dendenroom.or.jp



ミニ保育 でんでん保育室



事業案内

仕事をしていなくても歓迎！

週何日か子どもを預けられると子育てがしやすくなるお母さんやパートで働く人のための少人数保育。

ゆったりと家庭的な温かい保育を行います。

★預かり対象 3歳未満までの乳幼児 ★定員10名／1日

★開設曜日・時間帯 火・水・木・金曜 9:30～15:30

★利用料(消費税込み)

週4日利用の場合 月額37,800円

週3日利用の場合 月額31,500円

週2日利用の場合 月額23,100円

週1日利用の場合 月額12,600円



2年目に入って

1年目はパートで働くお母さんの保育のお手伝いをすることによって保育園の待機児解消を目指しましたが、開設している曜日と時間帯が不十分だったので、そのニーズに応えるよりも週1日でも2日でも、子どもを預けることができると子育てが楽になるというママたちの利用が多く、とても喜ばれています。

本年度は、定員を2名増やして、開設曜日も1日増やして週4日とし、ニーズにより応えやすいようにしました。それでも、週1日ご利用の方が多いのは「働いていなくても……」子どもを預けることによって子育てが楽しくなるというお母さんがたくさんいるからです。

これは、子育ての孤立からくるストレスの抱え込み、児童虐待の防止にもつながるわけで、現在の地域社会の課題解決にもなります。

2年度目に入ったミニ保育はスタッフも慣れてきて、散歩(外遊び)の行き先を多様化する、でんでんROOMでの保育スペースを拡大して、子どもたちが自由に動き回れるなどの改善にチャレンジしています。

この事業は北区政策提案協働事業から生まれました

昨年度、北区政策提案協働事業として北区と市民活動団体が協力して行う「ミニ保育by北区子育てネットワークin商店街」事業として出発しました。2年目の2011(平成23)年度は、北区政策提案協働事業・推進基金活用補助金の交付を受ける形で引き続き行うことが出来ました。

北区政策提案協働事業とは、NPOやボランティア団体等の主体的な関わりのもとで区との協働によるまちづくり事業を進め、多様で豊かな地域社会を実現することを目的とした北区独自の補助金制度です。

行政が直営で行うよりも市民活動の創意性に任せようがうまく対応できるという実例がこの制度であり、北区の住民としては全国に自慢できる制度だと思えます。

でんでん保育室 スタッフ紹介



竹田びいちゃん

男2人
女1人の母
男児2人の祖母



相澤ともりん

小学5年生の娘
ももちゃんと
1歳のハムスター
きいちゃんので
ママです。絵本大好き



小池いけちゃん

小学5年生
なまいき盛りの
男の子の
ママです



日比野
みずちゃん

高校2年生
小学5年生の女の子
2人の母です



高橋うめちゃん

高校2年生と
小学6年生の女の子の
母です
元気な子大好き



米満よねちゃん

小学6年生の
男の子のママ
野球好き坊主頭
の息子と一緒に
野球観戦で大
声出しています



鈴木すずちゃん

高校3年生女の子
中学2年生男の子
小学6年生女の子
3人元気な子どもの母です



渡辺のりちゃん

小5女の子と
小2男の子の
ママです。
最近は折り紙に興味あり!



事務スタッフ
長田おさぼん

中学1年の息子
小学1年の娘
去年産まれたばかりの息子
3人の元気ママです



事務スタッフ
富田まこちゃん

小学5年生の
男の子と
小学3年生の
女の子のママです
4月に女の子が生まれました



事務スタッフ
西のぞみちゃん

4歳と6歳の
姉妹の母です
最近はパンづくりに
はまっています



宮下
ちえちゃん

3歳の女の子と
1歳の男の子の母です
生まれも育ちも十条です!

メールサービス

毎日、おさまの様子を撮った写真を携帯メールしています。
お母さんから返ってきた感動のメッセージの一部をご紹介します。

<Aさん> ○月○日 でんでん子ども応援隊さま。今日はありがとうございました！ そして写真を送ってくださって嬉しい限りです！ 早速、でんでんフォルダを作りました。

今日は、私も冒険の記念すべき日でした。つくづく、子に親が育てられていると実感・・・(^_^;) 私も成長していかなきゃと感じた一日でした。慣れるまで時間がかかるかと思いますが、よろしくお願いします！

<Bさん> △月△日 いつもお世話になっています。初めての育児で、自分の時間が急になくなり週1でも自由に過ごせる時間を持つことが出来て、とてもリフレッシュできました。

家庭的なアットホームな雰囲気は、わが子にもあっているようです。来週もどうぞよろしくお願いいたします！

あずかり
一時託児も好評です

託児時間 火・水・木・金曜日 午前9時30分～午後3時30分
利用料 1050円(税込) / 1時間
対象 0才～未就学児
会員登録 ご利用に当たっては、事前に会員登録が必要です
身分証明書持参のうえ「でんでんROOM」にお越しください
ご予約 スタッフ配置の都合上必ずご予約の上ご利用ください



十条銀座商店街のJスタンプシートでの特別利用ができます

* Jスタンプ1シート(500円分)で1時間分(通常預り料1,050円)の保育サービスが利用できます。

① 利用券は、商店街事務所にてJスタンプと交換いたします。

② Jスタンプ公印と有効期限の日付印が押された利用券をでんでんROOMでお渡しください。

* 詳しくは、お問い合わせ・ご相談ください。

でんでん学習サポート教室



まさに「寺子屋」を再生したような教室

リポーター／矢作陽子
学習サポート教室スタッフ

■子どもたちは……

でんでん学習サポート教室は、学習塾というよりはまさに『寺子屋』です。

小学生（時に保育園児、高校生も入って）から中学生まで幅広い年齢の子どもたちがひとつの部屋で勉強しています。

（小学生は17:00～18:20、中学生は18:30～20:00と時間帯を分けてはいます。）

ひと昔前は街角で近所の子どもたちが群れて遊んでいましたが、あんな感じでしょうか。気の合う子どもたち同士、学校や学年を越えておしゃべりし合いじゃれ合い、ときに励まし合っています。

ここには勉強の得意な子も苦手な子もいます。でも、みんなそれぞれに『自分のペース』があるのです。いろいろな『自分のペース』が混在していて、その中で子どもたちはお互いの『自分のペース』を尊重することを、肌感覚で学んでくれているのではないかな、と思います。

■サポーターたちもいろいろです

／「先生」というひとつの顔ではなく、
いろいろな個性がある

子どもたちに勉強を教える先生役のサポーターたちも、いろいろとバラエティーに富んでいます。

近所の、子育てが一段落したお母さんや、他に仕事を

持つ社会人、現役の学生さんやボランティアの方などなど。タイプもさまざま、個性派ぞろいです。

かつてでんでんで勉強し、高校生・大学生になってサポーターとして舞い戻り、今のでんでんの子どもたちを支えてくれている生徒さんたちもいます。無理強いをせず、忍耐強く優しく子どもたちのそばに寄り添ってくれる頼もしいお兄さん・お姉さんたちです。

さまざまなタイプのサポーターがいるので、基本は褒めて褒めて、時々叱って、やっぱり褒めて褒めてを役割分担しています。

■勉強スタイル / 少人数で個別対応の勉強法

でんでんでは生徒1～4人にサポーター1人がついて、小さな班のように分かれて勉強しています。

でんでんでの勉強スタイルは何でもアリ。普段はこちらで用意した教材を使ってもらっていますが、学校の宿題や読書感想文、テスト勉強や壁新聞や美術の宿題等々、困っていたら何でも持って来いというスタンスです。

また、絵本を読んだり絵や詩を作ったりすることも立派な学びとして尊重しています。

「百聞は一見にしかず」

いちど見学に来てください。きっと、ここでなら勉強しよっかな～、って気になりますよ。

でんでん学習サポート教室 〡 スタッフ紹介



豊原
とよはら



西山
にしやま



辰巳
たつみ



竹腰
たけこし



岡野
あかの



亀田
かめだ



村井
むらい



杉
すぎ



肥田
ひだ



小島
こじま



坂口
さかぐち



芳賀
はが

●小学生…読むことを楽しみながら 自学・自習の基礎を築きます

算数・国語・理科・社会・英語

●火・水・木・金 17:00～18:20

●費用 5,250円～10,500円（消費税込）

／月4回利用より

●子どものニーズに合わせて取り組みます

●中学生…自分の力で学習すること により、自らの力を知り、ねばり強く知 識を習得できるようサポートします 数学・英語を中心に、得意科目の充実／苦 手科目の克服！

中3では高校受験サポートを行います

●火・水・木・金 18:30～20:00

●月14,700円（消費税込）

（1コマ90分×2日／週）

●受験指導 プラス2,100円（消費税込）

（4～5日／週の指導を行います）

●特別ニーズに対応したコース （LD、ADHD、高機能自閉症児など）



NPO法人だからこそできる

個別対応のサポートをします



子どもの心のシグナルを受け止めながら丁寧にサポートする学習教室です。コーチングによる《楽学》《共学》《自学》《自主》をめざします。

学習サポート教室は、でんでん子ども応援隊の中心的な事業です。

この教室は、学力向上はもちろんのこと、子どもたちの日常に大きく影響しているいじめ・不登校・学級崩壊・発達障害などの問題に取り組み、学習を通じ子どもたちを育む「居場所・寺子屋」です。

子どもたちの学びの場とは、地域の人々よって支えられ、子どもも大人も学びあい交流できるコミュニティの中でつくられるべき。

今日、学校以外の子どもの学び場は、大人の儲けの場としての学習塾に頼らざるを得ないのが実情です。しかし、私たちが運営する教室は、一見“塾”のようですが、子どもたちが互いに“学び

あう場”としてつくりました。非営利の地域活動をベースにした教室では、おやつや差し入れがあったり、おしゃべりが弾む時もあったり……、時には厳しさもありますが、安心感や温もり、信頼関係が育まれます。人とのかかわりの中で楽しく学ぶと、家庭での学習も充実します。

わたしたち学習サポーターは、しなやかに伸びていく子ども達の姿を見るたびに、やりがいや生きがいを感じています。

でんでん学習サポート教室のサポーターは、学校関係退職者、心理学履修者、大学・高校生、主婦等です。子どもたちの学ぶ権利も含め、<子どもの権利>を保障すること、社会に対し発言する機会のない子どもたちの代弁者になることを常に心がけ、研修し支援力の向上に努めています。

でんでん学習サポート教室のコンセプト & 入会プロセス

- Step 1 まず、見学・ご相談を
- Step 2 4回の無料体験
- Step 3 入会

自分の目標に向かい、自ら学ぶ

コーチングによるサポート



ともにまなぶ
共学

サポーターとの信頼を築く

- ・自分を心から大切に思ってくれる大人の存在があって、安心して学びに向かうことができる
- ・子どもとサポーターや子どもどうしの信頼関係をつくることを大切にする

たのしくまなぶ
楽学

楽しく繰り返せる力は本当の力となる

- ・同じことの積み重ねによって、しっかりとした学力が身につく
- ・楽しくなければ、同じことの繰り返しはつらくなるので、励ましながら、学ぶことが楽しくなるよう工夫し、次へのステップ（自学のステップ）へ

みずからまなぶ
自学

達成感

- ・できると思っていたことでも、思わぬところでミスをするもの
- ・ミスを繰り返すなかで、ねばり強さが育ち、集中力がでてくる
- ・自分の力でがんばり、達成感へとつながる

ひとりだち
自立

他者と比較しながら勉強するのではなく、自分と向き合う学習スタイルがつけられるようになれば「学習の自立」は達成です。

自尊感情の芽生え

- ・自尊感情が芽生え、友だちと学び合い、他者を尊重



共感し、見守りながら…

地域子どもクラブ活動 子連れOK講座

<地域子どもクラブ活動>

北区社会福祉協議会2011年度地域福祉活動助成を活用した事業です

これまで積み重ねてきた人的つながりを活用して講師を組織し、預かった子どもたちの個性を認め豊かに伸ばすクラブ活動を行います。

対象： 小学1年生～中学3年生

本年度のプログラム：

書道（月2回、月曜日17:00より） 費用 4,575円/月

パソコン（月2回、土曜日13:30より） 費用 4,200円/月

場所：でんでんROOM

書道教室



堀口玲子先生

パソコン



木村松夫先生

<子連れOK講座>

助成金申請が却下されても、スタッフはめげずになんとか自主運営の努力をしてきました。しかし、結局、ヨガ講座は打ち切りとなりゴスペル講座のみを継続することになりました。

ご協力・ご理解いただいた講師のみなさまとご利用者のみなさまに感謝いたします。

2011年度のプログラム：TENゴスペル教室

開催日：月2回、月曜日 10:30より

参加費：1,050円/1回

場所：スペースμ



ネットワークでつなげる各種教室

本年度は、子連れOK講座のヨガ教室と地域子どもクラブのフラメンコ、中国武術の開催が出来なくなりました。継続して行うことによって効果が認められるものであっただけに残念です。講師の先生方には大変申し訳ありませんでした。

幸い、先生方には今後も連携・協力をいただけることとなりました。ご利用になっていた方には、各講座の先生がそれぞれ主宰なさっている教室をご案内しています。

フラメンコ教室 甲斐みよこ先生

FERIA ジュニアクラス

木曜日月2回
月謝 3,000円



<スタジオ>

カルチャースペースμ
JR東十条北口前

<お問い合わせ>

090-3909-9471

feria-rosa221@nexyzbb.ne.jp

ヨガ教室 高木友紀子先生

ヨガ教室 Kafu ~



マタニティ・産後・
成人・疾患対応

ヨガ指導

出張可

子連れOK講座
会員のサークル
開講中

<お問い合わせ>

<http://yoga-kafu.com>

中国伝統武術 江口博先生

掌友会 子どもカンフー教室

土・日曜日
13:00～16:00
木曜日
18:00～19:30
月謝 4,000円



<お問い合わせ>

090-9306-9266

<メール>

egeg03@ezweb.ne.jp

ブックレットを発行しました

もうひとつの居場所を求めて
 /この街の子どもたちを、この街の人たちの手で育てたい

Passion = 個人的情熱から
 Mission = 社会的目的へ
 でんでん 15年の軌跡を追い
 これからの子育て支援市民活動、
 地域づくりとは何かを問いかける！



2010年度のWAM事業助成金で作成しました
 A5判 44ページ
 無料配布しています
 ご希望の方はでんでんROOMまで
 郵送の場合は送料別

<主な内容>

- 第 章 でんでん子ども応援隊のなりたち
- 第 章 学習サポート教室がめざすもの
- 第 章 でんでん子ども応援隊の呼びかけ

<読者からの声 / こうすると地域に広がる活動になるというテキストブックだと思います>

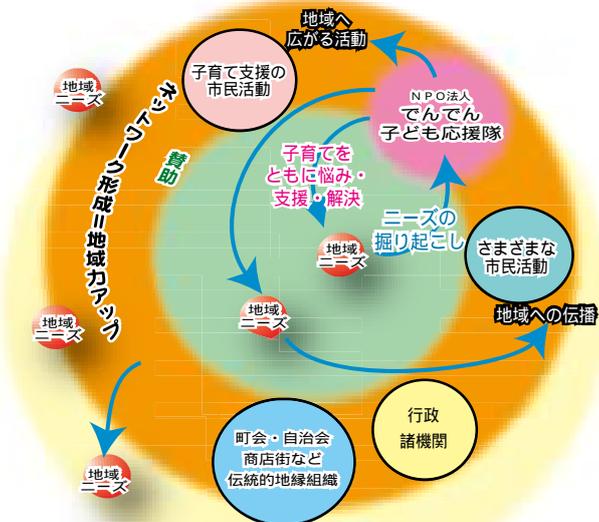
同じ子育て支援のボランティアをしている立場で、でんでんの活動力のすごさに日ごろから感心させられ、「あれは豊原さんしかできない」と半分は呆れてもきたのですが、今度のブックレットを読ませていただいて、でんでんと豊原さんの活動が地域活動の理になかったものであることがよく分かりました。

こういう本は、その団体の活動記録を年代順に並べただけのものが多いのですが、その時々を経験を失敗の経験も含めて、なぜ? どうして? と振り返って、次のステップにしているのととても参考になりました。

わたしも出来るかなって、ちょっぴり勇気をもらいました。 / 北区在住・ボランティア活動者

子育ては地域の力でうまくいく

このたびの東日本大震災の直後、食べるものもない、医療もない、救援の手も届かない極限状態で人々の命を支えてきたのは、その時に側にいた者どうしが互いに手を取り合って助け合った地域力であったと思います。パニックの何日かが過ぎて復興のプロセスに入ってから、猫の手も借りたい課題山積。その猫の手すらも地域の住民自身とボランティアの人たちでした。つまり、地域の人々のつながり合う力=コミュニティの力が基本なのだと思うのです。



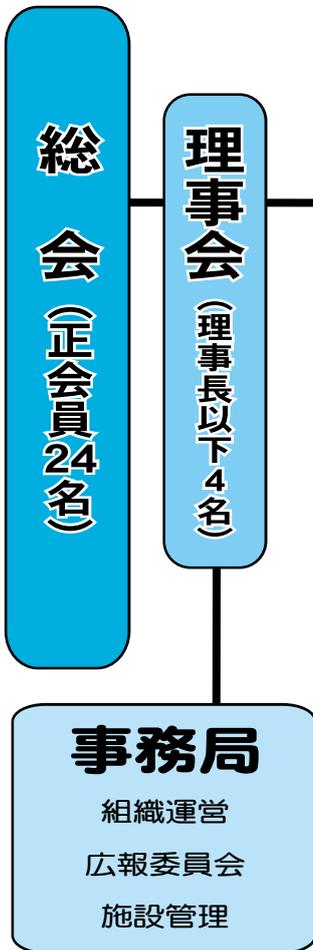
子育てをうまく進めるのにもコミュニティの力が必要です。生まれたばかりの赤ちゃんの育ちを応援し、幼児期の子どもの健やかさを支え、学童期の子どもへの学びを助け、思春期の子どもへの課題をフォローしていくのは地域の力なのです。

大人たちも教えられ成長していくことができる地域社会、つまり、支えられた人が支え手にまわり、それを次の世代に伝えていく、そんな地域の渦巻きを作りたいと思っています。

子育て支援の行政施策はこうした地域力形成のための市民活動に寄り添って、もっと手厚い支援をするべきだと思います。行政の目を地域にむかせるためにも、わたしたちは市民活動活動をさらに力強いものにしていかなければならないと考えています。

NPO法人でんでん子ども応援隊と地域
 地域に広がる拠点づくりを目指して

特定非営利活動法人（NPO法人） でんでん子ども応援隊はこんな活動体です



全体運営委員会

（各事業セクションごとに事業部会を持ち、それを全体運営委員会に持ち寄り、連絡・調整を行っていきます）

1 子ども支援事業 学習サポートスタッフ15人

- ①学習サポート教室事業
火～金曜日 17:00～20:30 土曜日 13:00～15:00
独自事業 年間225日稼働
- ②地域子どもクラブ（北区社会福祉協議会の助成金）
書道 月曜日 17:00～ パソコン 土曜日 13:00～

2 子育て支援事業 保育・事務スタッフ12人

- ①乳幼児保育事業（ミニ保育＝北区政策提案協働事業＝でんでん保育室）
火～金曜日 9:30～15:30
- ②子連れOK講座
TENゴスペル講座 月2回開催
- ③広場・一時預かり事業 随時実施

3 子ども 子育てネットワーク事業

- ①イベントの開催
- ②北区子育てネットワーク事業

4 子ども 子育てに関する普及啓発事業

- ①子ども・子育てに関する講座の開催
- ②機関紙、研究報告書、啓発書の発行
- ③ホームページの開設・運営

5 その他 目的を達成するのに必要な事業

子ども・子育て応援隊の活動にあなたも参加しませんか



事業の中心の担い手は子育て中のママさんです。みんなが助け合い支え合って活動しています。写真は事務局会議

●正会員として……
でんでんの事業の担い手として、運営にも関心をもって活動していただける方
年会費（個人）…5,000円

●賛助会員として……
でんでんの活動を支援していただける方
年会費（個人）…1,000円以上
年会費（団体）…5,000円以上

ボランティア歓迎！

- ご相談ください

当法人へのご寄付を募っています！

- ご寄付などのご送金には郵便振替口座をご利用ください
口座番号：00140-0-708003
口座名：特定非営利活動法人 でんでん子ども応援隊